

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 90 問で解答時間は正味 2 時間 15 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) (例 1) の問題では a から e までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を 1 つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例 1) の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1) 201 歯科医業が行えるのはどれか。1 つ選べ。

- a 合格発表日以降
- b 合格証書受領日以降
- c 免許申請日以降
- d 臨床研修開始日以降
- e 歯科医籍登録日以降

(例 1) の正解は「e」であるから答案用紙の **(e)** をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
			↓		
201	(a)	(b)	(c)	(d)	●

答案用紙②の場合、

201	201
(a)	(a)
(b)	(b)
(c)	→ (c)
(d)	(d)
(e)	●

- (2) (例2)の問題ではaからeまでの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を2つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例2) 202 歯科医籍訂正の申請が必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 氏名変更時
- b 住所地変更時
- c 勤務先変更時
- d 診療所開設時
- e 本籍地都道府県変更時

(例2)の正解は「a」と「e」であるから答案用紙の(a)と(e)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

202	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
			↓		
202	●	(b)	(c)	(d)	●

答案用紙②の場合、

202	202
(a)	●
(b)	(b)
(c)	→ (c)
(d)	(d)
(e)	●

- (3) (例3)の問題ではaからeまでの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を3つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例3)の質問には2つ以下又は4つ以上解答した場合は誤りとする。

(例3) 203 歯科医籍の登録事項はどれか。3つ選べ。

- a 氏 名
- b 住所地
- c 勤務先
- d 生年月日
- e 本籍地都道府県

(例3)の正解は「a」と「d」と「e」であるから答案用紙の(a)と(d)と(e)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

203	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
			↓		
203	●	(b)	(c)	●	●

答案用紙②の場合、

203	203
(a)	●
(b)	(b)
(c)	→ (c)
(d)	●
(e)	●

- (4) (例4)の問題ではaからeまでの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を4つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には3つ以下又は5つ解答した場合は誤りとする。

(例4) 204 歯科医師法に規定されているのはどれか。4つ選べ。

- a 不正受験者の措置
- b 診療所開設の届出
- c 保健指導を行う義務
- d 歯科医師の氏名の公表
- e 歯科医師国家試験の受験資格

(例4)の正解は「a」と「c」と「d」と「e」であるから答案用紙の (a) と (c) と (d) と (e) をマークすればよい。

答案用紙①の場合、		答案用紙②の場合、	
204	(a) (b) (c) (d) (e)	204	204
	↓	(a)	●
204	● (b) ● ● ●	(b)	(b)
		(c) →	●
		(d)	●
		(e)	●

- (5) (例5)の問題では問題ごとに正答数が異なるので、それぞれに適した数の選択肢をすべて選び答案用紙に記入すること。

例えば、質問に適した選択肢が3つである場合は、2つ以下又は4つ以上解答した場合は誤りとする。

(例5) 205 歯科医師法に規定されているのはどれか。すべて選べ。

- a 不正受験者の措置
- b 診療所開設の届出
- c 保健指導を行う義務
- d 歯科技工指示書の記載
- e 歯科医師の氏名の公表

(例5)の正解は「a」と「c」と「e」であるから答案用紙の (a) と (c) と (e) をマークすればよい。

答案用紙①の場合、		答案用紙②の場合、	
205	(a) (b) (c) (d) (e)	205	205
	↓	(a)	●
205	● (b) ● (d) ●	(b)	(b)
		(c) →	●
		(d)	(d)
		(e)	●

(6) 選択肢が6つ以上ある問題については質問に適した選択肢を1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例6)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例6) 206 平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査で人口10万人当たりの歯科医師数が最も少ないのはどれか。1つ選べ。

- a 北海道
- b 青森県
- c 茨城県
- d 埼玉県
- e 福井県
- f 和歌山県
- g 鳥取県
- h 徳島県
- i 佐賀県
- j 沖縄県

(例6)の正解は「e」であるから答案用紙の **(e)** をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

206	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)
206	(a)	(b)	(c)	(d)	●	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)

↓

答案用紙②の場合、

206	206
(a)	(a)
(b)	(b)
(c)	(c)
(d)	(d)
(e)	●
(f)	(f)
(g)	(g)
(h)	(h)
(i)	(i)
(j)	(j)

→

- (7) 計算問題については、 に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例7)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例7) 207 1歳6か月児歯科健康診査の結果を表に示す。

齲蝕罹患型	O ₁	O ₂	A	B	C
人 数	12	28	6	3	1

齲蝕有病者率を求めよ。

解答： ① ② %

① ②

0 0

1 1

2 2

3 3

4 4

5 5

6 6

7 7

8 8

9 9

(例7)の正解は「20」であるから①は答案用紙の ☒ 2 を、②は ☒ 0 をそれぞれマークすればよい。

答案用紙①の場合、

207 ① ☒ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 ☐ 9

② ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 ☐ 9

答案用紙②の場合、

207 ① ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 ☐ 9

② ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 ☐ 9

- (8) 順序問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な選択肢をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例8)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合や同じ選択肢を複数回使用した場合は誤りとする。

(例8) 208 これから地域歯科保健活動を実施する予定である。

活動内容を実施の順番に並べよ。

解答： ① → ② → ③ → ④ → ⑤

- a 解 析
- b 計 画
- c 実 施
- d 調 査
- e 評 価

(例8)の正解は ① が「d」、② が「a」、③ が「b」、④ が「c」、⑤ が「e」であるから①は答案用紙の ☒d を、②は ☒a を、③は ☒b を、④は ☒c を、⑤は ☒e をそれぞれマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	☒ a	☐ b	☐ c	☐ d	☐ e
②	☐ a	☐ b	☐ c	☐ d	☐ e
208 ③	☒ a	☐ b	☐ c	☐ d	☐ e
④	☒ a	☐ b	☐ c	☐ d	☐ e
⑤	☒ a	☐ b	☐ c	☐ d	☐ e

答案用紙②の場合、

208

①	②	③	④	⑤
☒ a	☐ a	☒ a	☐ a	☐ a
☐ b	☐ b	☐ b	☒ b	☐ b
☐ c	☐ c	☐ c	☐ c	☒ c
☐ d	☐ d	☐ d	☐ d	☐ d
☐ e	☐ e	☐ e	☐ e	☒ e

- 1 口唇裂・口蓋裂のチーム医療で正しいのはどれか。1つ選べ。
- a 治療方針は執刀医が決定する。
 - b 医療の経済的効率化を目的とする。
 - c 成長に合わせた包括的治療を行う。
 - d 各職種が独自に治療目標を設定する。
 - e 構成メンバーは医師と歯科医師に限られる。
- 2 受精の場はどれか。1つ選べ。
- a 膣
 - b 子宮
 - c 卵巣
 - d 子宮広間膜
 - e 卵管膨大部
- 3 国際生活機能分類(ICF)の背景因子として適切なのはどれか。1つ選べ。
- a 活動
 - b 参加
 - c 環境因子
 - d 健康状態
 - e 身体構造

- 4 全身性浮腫の診察時に圧痕を確認する部位はどれか。1つ選べ。
- a 肋 間
 - b 下腹部
 - c 心窩部
 - d 脛骨前面
 - e 胸鎖乳突筋部
- 5 歯科診療を行う際、診断に最も妨げとなるうつ症状はどれか。1つ選べ。
- a 気力減退
 - b 食欲減退
 - c 体動遅延
 - d 疼痛多発
 - e 入眠困難
- 6 アミノ酸から合成されるのはどれか。1つ選べ。
- a ヒスタミン
 - b アルドステロン
 - c ロイコトリエン
 - d 血小板活性化因子
 - e プロスタグランジン

7 I型アレルギーの原因となるのはどれか。1つ選べ。

- a シリカ
- b チタン
- c ニッケル
- d ラテックス
- e アルジネート

8 リハビリテーションで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 一次予防に該当する。
- b 疾病の治癒を主目的とする。
- c 医療者が到達目標を設定する。
- d 自立が期待できる患者を優先する。
- e 発症早期からの開始が効果的である。

9 高齢者における循環の生理的特徴はどれか。1つ選べ。

- a 早朝の降圧
- b 脈圧の減少
- c 臓器血流の増加
- d 収縮期血圧の上昇
- e 圧受容器反射の亢進

10 顎頭間距離と関係するのはどれか。1つ選べ。

- a Balkwill 角
- b Bennett 角
- c Bonwill 三角
- d Fischer 角
- e Spee の彎曲

11 問題解決指向型診療録における SOAP の「A」にあたる事項はどれか。1つ選べ。

- a 鑑別診断
- b 検査所見
- c 指導計画
- d 治療結果
- e 治療方針

12 矯正治療の過程を図に示す。

医療面接 → ① → ② → 分析 → ③ → ④ → ⑤ → 動的治療 → 保定

④に入るのはどれか。1つ選べ。

ただし、①～⑤は a～e のいずれかに該当する。

- a 検 査
- b 診 察
- c 診 断
- d 治療計画の策定
- e 治療目標の設定

13 CT(別冊No. 1)を別に示す。

捻髪音がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊

No. 1

14 真歯に必須の構造物はどれか。1つ選べ。

- a 歯 髄
- b 歯槽骨
- c 象牙質
- d エナメル質
- e セメント質

15 歯科治療時に患者が苦悶を呈した。その際の患者の写真(別冊No. 2)を別に示す。

考えられる病態はどれか。1つ選べ。

- a 心停止
- b 脳梗塞
- c 気道閉塞
- d 血圧上昇
- e 狭心症発作

別 冊

No. 2

16 穿刺吸引細胞診で診断可能なのはどれか。1つ選べ。

- a 歯牙腫
- b 腺様嚢胞癌
- c 骨形成線維腫
- d 線維性異形成症
- e セメント芽細胞腫

17 メタボリックシンドロームの診断基準項目はどれか。1つ選べ。

- a n-3系脂肪酸
- b n-6系脂肪酸
- c 総コレステロール
- d HDL コレステロール
- e LDL コレステロール

18 左心不全の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 多 尿
- b 肝腫大
- c 下腿浮腫
- d 呼吸困難
- e 頸静脈怒張

19 細菌の遺伝子伝達様式である接合に関与するのはどれか。1つ選べ。

- a 莢 膜
- b 鞭 毛
- c 性線毛
- d リボ多糖
- e バクテリオファージ

20 昏倒した患者に AED を装着した。

除細動を行う指示が出た後にまず行うべきなのはどれか。1つ選べ。

- a 呼吸を確認する。
- b 頸動脈を触知する。
- c 人工呼吸を続ける。
- d 患者に触れないようにする。
- e 経口エアウェイを挿入する。

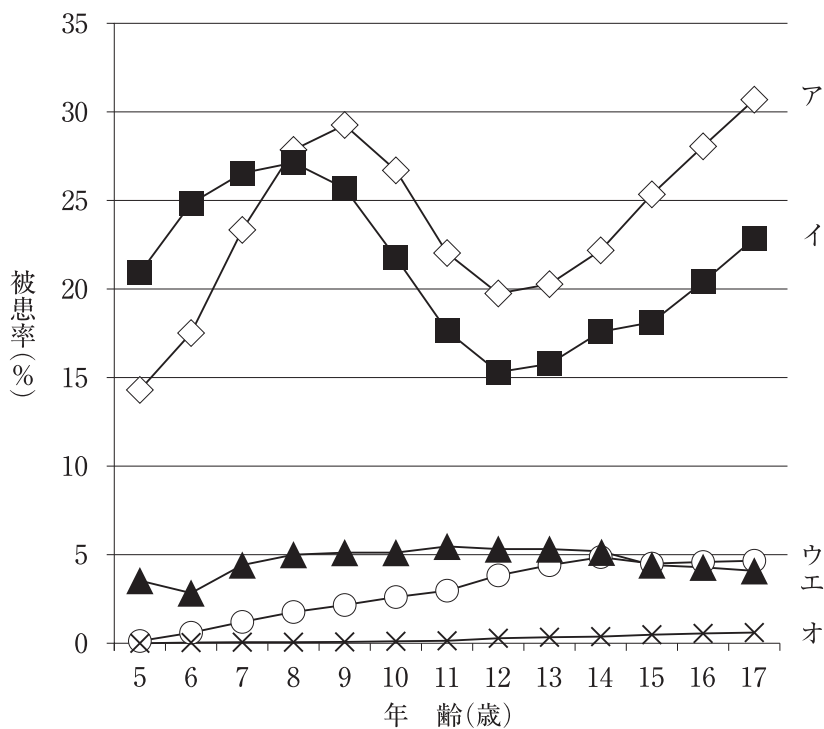
21 リスク因子の解析で、コホート研究に比べて患者対照研究が適しているのはどれか。1つ選べ。

- a 齲 蝕
- b 舌 癌
- c 歯周炎
- d 歯肉炎
- e 歯の喪失

22 付加型シリコーンゴム印象材の主成分はどれか。1つ選べ。

- a ポリエチレングリコール
- b ポリジメチルシロキサン
- c ポリエチルメタクリレート
- d ポリメチルメタクリレート
- e ポリテトラフルオロエチレン

23 平成 28 年度学校保健統計調査における年齢別の被患率の結果を図に示す。



イはどれか。1つ選べ。

ただし、ア～オは a～e のいずれかに該当する。

- a 歯肉に異常のある者
- b 顎関節に異常のある者
- c 歯列・咬合に異常のある者
- d むし歯(う歯)未処置歯のある者
- e むし歯(う歯)の処置が完了した者

24 感覚性神経節はどれか。2つ選べ。

- a 耳神経節
- b 膝神経節
- c 顎下神経節
- d 翼口蓋神経節
- e 下神経節〈錐体神経節〉

25 サルコペニアの診断に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 握 力
- b 腹 囲
- c 血糖値
- d 歩行速度
- e 血清アルブミン値

26 摂食嚥下障害に伴う機能低下と訓練の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 開口量減少 ————— アイスマッサージ
- b 舌筋力低下 ————— 舌抵抗訓練
- c 食塊移送能低下 ————— 息こらえ嚥下
- d 喉頭挙上能低下 ————— 頭部挙上訓練
- e 声門閉鎖機能不全 ————— バルーン拡張法

27 遺伝子検査はどれか。3つ選べ。

- a サザンブロット法
- b ウェスタンブロット法
- c ガスクロマトグラフィー検査
- d *in situ* ハイブリダイゼーション法
- e Polymerase Chain Reaction(PCR)法

28 便が主な感染源となるのはどれか。1つ選べ。

- a 麻疹ウイルス
- b ロタウイルス
- c ムンプスウイルス
- d インフルエンザウイルス
- e 水痘・帯状疱疹ウイルス

29 IgG4 関連疾患はどれか。1つ選べ。

- a 粘液嚢胞
- b Mikulicz 病
- c Sjögren 症候群
- d アミロイドーシス
- e 壊死性唾液腺化生

30 長期臥床患者では全身麻酔後に肺血栓塞栓症を起こしやすい。

このリスクを判断するための検査項目はどれか。1つ選べ。

- a CK
- b PT
- c CRP
- d D ダイマー
- e 心筋トロポニン T

31 病原体に結合しオプソニン効果を示すのはどれか。2つ選べ。

- a IgG
- b 補 体
- c リゾチーム
- d ブラジキニン
- e トロンボキサン

32 2歳児の恐れの対象はどれか。3つ選べ。

- a 大きな音
- b まぶしい光
- c 一人でいること
- d 見慣れないもの
- e 危害を加えそうな人

33 第3鰓弓由来はどれか。1つ選べ。

- a 声帯筋
- b 顎舌骨筋
- c 茎突咽頭筋
- d 茎突舌骨筋
- e 口蓋帆張筋

34 偏心滑走運動時のクリステンセン現象を補償するのはどれか。2つ選べ。

- a 切歯路角
- b 咬頭の高さ
- c 顎路の傾斜度
- d 調節彎曲の程度
- e 咬合平面の傾斜度

35 母子保健法に基づいて市町村が実施するのはどれか。2つ選べ。

- a 自立支援医療
- b 3歳児健康診査
- c 児童虐待への対策
- d 母子健康手帳の交付
- e 子ども・子育て支援給付

36 小児の薬用量の算定で年齢を用いるのはどれか。2つ選べ。

- a Augsberger の式
- b Clark の式
- c Crawford の式
- d von Harnack の換算表
- e Young の式

37 密度が最も小さいのはどれか。1つ選べ。

- a 金合金
- b 象牙質
- c チタン
- d ジルコニア
- e アルミナ陶材

38 細菌と病原因子の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* ———— ロイコトキシン
- b *Porphyromonas gingivalis* ———— 酪酸
- c *Prevotella intermedia* ———— デンティリジン
- d *Tannerella forsythia* ———— ジンジバイン
- e *Treponema denticola* ———— 莢膜

39 神経障害性疼痛の症状はどれか。1つ選べ。

- a 腫 脹
- b 発 疹
- c めまい
- d 意識障害
- e アロディニア

40 模型用石膏の硬化遅延剤はどれか。2つ選べ。

- a ホウ砂
- b 硫酸亜鉛
- c 硫酸カリウム
- d 塩化ナトリウム
- e クエン酸カリウム

41 成人と比較した乳児の生理的特徴はどれか。2つ選べ。

- a 心拍数が少ない。
- b 尿濃縮力が低い。
- c 基礎代謝率が低い。
- d 体重当たりの水分量が多い。
- e 体重当たりの体表面積が小さい。

42 歯周炎を随伴するのはどれか。3つ選べ。

- a Down 症候群
- b Sturge-Weber 症候群
- c Peutz-Jeghers 症候群
- d Chédiak-Higashi 症候群
- e Papillon-Lefèvre 症候群

43 矯正用ブライヤーの写真(別冊No. 3)を別に示す。

角線の屈曲に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊

No. 3

44 高血圧症患者の歯科治療で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 局所麻酔は行わない。
- b 血圧と脈拍をモニタリングする。
- c 頰脈の場合は治療の中止を検討する。
- d 水平位診療では頭部を体幹より低くする。
- e 著しい血圧上昇にはニフェジピンを舌下投与する。

45 インテグリンと結合するのはどれか。2つ選べ。

- a ケラチン
- b エナメルリン
- c アメロゲニン
- d オステオポンチン
- e フィブロネクチン

46 ろう義歯の口蓋形態を確認するのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合力検査
- b パラトグラム検査
- c ブローイング検査
- d ポリソムノグラフィ
- e ゴシックアーチ描記法

47 85歳の男性。家族に義歯を隠されたと訴えて来院した。家族によるとその事実はないという。

この症状と同じカテゴリーに分類される認知症の症状はどれか。2つ選べ。

- a 異食
- b 失認
- c 不潔行為
- d 見当識障害
- e 実行機能障害

48 知覚過敏抑制を目的に歯磨剤に配合されるのはどれか。2つ選べ。

- a 硝酸カリウム
- b 塩化ナトリウム
- c グリチルリチン酸
- d 乳酸アルミニウム
- e 塩化セチルピリジニウム

49 非歯原性歯痛の原因となるのはどれか。1つ選べ。

- a 貧血
- b 肝硬変
- c 白血病
- d 片頭痛
- e てんかん

50 根尖病変を有する根未完成歯に適用されるのはどれか。1つ選べ。

- a 抜髄
- b 生活断髄
- c 暫間的間接覆髄
- d アペキソゲネーシス
- e アペキシフィケーション

51 アドレナリン添加の局所麻酔薬は α_1 遮断作用をもつ抗精神病薬と併用禁忌である。

併用によって起こり得るのはどれか。1つ選べ。

- a 徐脈
- b 頻脈
- c 血圧上昇
- d 血圧低下
- e 呼吸促進

52 50歳の女性。上顎右側側切歯の審美不良を主訴として来院した。10年前に修復処置を受けたが、1年前から気になっていたという。特に症状はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 4)を別に示す。

考えられる原因はどれか。1つ選べ。

- a 磨耗
- b 過剰填塞
- c 口腔清掃不良
- d 接着操作時の血液の混入
- e コントラクションギャップ

別 冊

No. 4

53 床用金属で最も高い融点を有するのはどれか。1つ選べ。

- a 白金加金
- b チタン合金
- c タイプ4金合金
- d 金銀パラジウム合金
- e コバルトクロム合金

54 歯科治療時の偶発症で、血圧は保たれているが意識障害を伴うのはどれか。2つ選べ。

- a 過換気症候群
- b 局所麻酔薬中毒
- c 血管迷走神経反射
- d 高度房室ブロック
- e アナフィラキシーショック

55 7歳時のターミナルプレーンは両側垂直型であったが、12歳時での第一大臼歯の咬合関係は両側とも Angle I 級となった。

この変化に関与したのはどれか。2つ選べ。

- a 乳犬歯の咬耗
- b 顎間空隙の減少
- c 二次空隙の発現
- d 霊長空隙の閉鎖
- e リーウェイスペースの存在

56 急性壊疽性歯髄炎にみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 瘻 孔
- b 自発痛
- c 動揺度の増加
- d 髄室開拓時の腐敗臭
- e 歯髄電気診での無反応

57 外科的矯正治療中の一連の口腔内写真(別冊No. 5)を別に示す。

治療過程の順番に並べた場合、2番目はどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊

No. 5

58 41歳の男性。洗顔時の右側頬部の疼痛を主訴として来院した。6か月前から右側鼻翼部にチクチクするような疼痛を自覚し、その後電撃痛へと変化したという。

また、痛みが発生すると疼痛は数秒間持続するという。

診断のために有効なのはどれか。2つ選べ。

- a 眼窩下孔の圧迫
- b ビタミン B₁₂ の投与
- c 星状神経節ブロック
- d カルバマゼピンの投与
- e 眼窩下孔のアルコールブロック

59 半固定性ブリッジの適応となるのはどれか。3つ選べ。

- a 審美性の要求が高い。
- b 中間支台歯が含まれる。
- c 支台歯間で動揺度に差がある。
- d クラウンの高径が不足している。
- e 支台歯間に平行性が得られない。

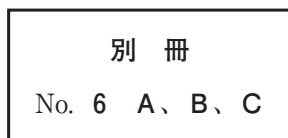
60 進行性下顎頭吸収(PCR)による変化はどれか。2つ選べ。

- a FMA の増加
- b Y 軸角の減少
- c 顔面角の増加
- d SNB 角の減少
- e ANB 角の減少

61 9歳の男児。上顎左側中切歯が生えてこないことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 6A)、エックス線画像(別冊No. 6B)及び歯科用コーンビームCT矢状断像(別冊No. 6C)を別に示す。

今後、1において起こり得る異常はどれか。1つ選べ。

- a 歯根吸収
- b 歯髄壊死
- c 歯冠の矮小化
- d 歯根形成不全
- e エナメル質形成不全



62 酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムはどれか。3つ選べ。

- a 3ステップシステム
- b 2ステップセルフエッチングシステム
- c ウェットボンディングシステム
- d 2ボトル1ステップシステム
- e オールインワンシステム

63 3歳児歯科健康診査において、事前に保護者に問診票を配布することとした。適切な質問はどれか。3つ選べ。

- a 離乳食をはじめましたか。
- b いつも指しゃぶりをしていますか。
- c 仕上げ磨きをしてあげていますか。
- d 歯磨きの練習ははじめていますか。
- e フッ化物(フッ素)歯面塗布をしていますか。

64 コクサッキーウイルスの感染によるのはどれか。2つ選べ。

- a 猩紅熱
- b 乳頭腫
- c 手足口病
- d 伝染性単核症
- e ヘルパンギーナ

65 造影CTで用いるヨード系造影剤の原則禁忌とされているのはどれか。1つ選べ。

- a 血管腫
- b 脂肪腫
- c 悪性黒色腫
- d 神経線維腫
- e 多発性骨髄腫

66 18歳の男子。咬合異常を主訴として来院した。2日前に自転車で転倒してオトガイ部を強打したという。初診時のエックス線画像(別冊No. 7)を別に示す。

適切な治療法はどれか。2つ選べ。

- a 囲繞結紮
- b ミニプレート固定
- c 床副子を用いた顎内固定
- d 線副子を用いた顎内固定
- e 線副子を用いた顎間固定

別 冊

No. 7

67 67歳の男性。入れ歯の針金に食渣が挟まることを主訴として来院した。3年前にレジン床義歯を製作したが、比較的早期からクラスプと支台歯との隙間を認めたという。クラスプを再製作し、現有義歯の修理を行うこととした。義歯装着時の口腔内写真(別冊No. 8A)と上顎左側犬歯の支台装置の写真(別冊No. 8B)を別に示す。

クラスプ製作に際し③について検討すべき事項はどれか。2つ選べ。

- a 最大豊隆部の修正
- b ディンプルの付与
- c 義歯着脱方向の確認
- d 側方運動時の咬合調整
- e レストシートの形態修正

別 冊

No. 8 A、B

68 15歳の女子。飲水時の上顎臼歯部における疼痛を主訴として来院した。歯の表面性状は萌出してから変化はないという。皮膚に異常は認められない。初診時の口腔内写真(別冊No. 9A)とエックス線画像(別冊No. 9B)を別に示す。

診断名はどれか。1つ選べ。

- a 骨形成不全症
- b 歯のフッ素症
- c 先天性表皮水疱症
- d エナメル質形成不全症
- e 先天性外胚葉異形成症

別 冊

No. 9 A、B

69 生後1か月の乳児。哺乳障害がみられたため、小児科からの紹介で来院した。出生直後から仰臥位で吸気時の喘鳴とチアノーゼがみられるという。初診時の側貌写真(別冊No. 10A)、口腔内写真(別冊No. 10B)及び頭部側方向エックス線写真(別冊No. 10C)を別に示す。

考えられる疾患はどれか。1つ選べ。

- a Down 症候群
- b Apert 症候群
- c Crouzon 症候群
- d Robin シークエンス
- e Beckwith-Wiedemann 症候群

別 冊

No. 10 A、B、C

70 4歳の男児。上顎右側第一乳臼歯の食事時の違和感を主訴として来院した。3か月前からDの齲蝕に気付いていたがそのままにしていたところ、2週前から歯肉が腫れてきたという。自発痛はないが軽度の咬合痛がある。初診時の口腔内写真(別冊No. 11A)とエックス線画像(別冊No. 11B)を別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
- b 咬合調整
- c 生活断髄
- d 抜 髄
- e 感染根管治療

別 冊

No. 11 A、B

71 45歳の女性。上顎右側中切歯の審美不良を主訴として来院した。15年前にコンポジットレジン修復を受けたという。特に症状はない。補修修復を行うこととした。初診時と窩洞形成後の口腔内写真(別冊No. 12)を別に示す。

1)に対する処理で用いるのはどれか。2つ選べ。

- a リン酸
- b フッ化水素酸
- c 硫黄系機能性モノマー
- d 次亜塩素酸ナトリウム
- e シランカップリング剤

別 冊

No. 12

72 68歳の女性。左側下顔面の疼痛を主訴として来院した。3日前から左側下顔面に発赤を伴う水疱が出現し、聴覚過敏とめまいを自覚するという。初診時の顔貌写真(別冊No. 13)を別に示す。

原因療法に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a アシクロビル
- b プレドニゾロン
- c ミコナゾール硝酸塩
- d アモキシシリン水和物
- e ロキソプロフェンナトリウム水和物

別 冊

No. 13

73 75歳の女性。下顎全部床義歯の不適合による咀嚼困難を主訴として来院した。
これまでに製作した義歯は不安定であったため、インプラント義歯を製作することとした。治療中の口腔内写真(別冊No. 14)を別に示す。

装着する義歯の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 術者可撤式である。
- b 非緩圧型の構造とする。
- c 磁氣的吸着力を利用する。
- d 大臼歯部に人工歯を排列しない。
- e 顎堤条件にかかわらず維持力を発揮する。

別 冊

No. 14

74 32歳の男性。上顎右側第二大臼歯の自発痛を主訴として来院した。歯の保存が可能と診断し、麻酔抜髄を行うこととした。初診時のエックス線画像(別冊No. 15 A)と修復物除去後の口腔内写真(別冊No. 15 B)を別に示す。

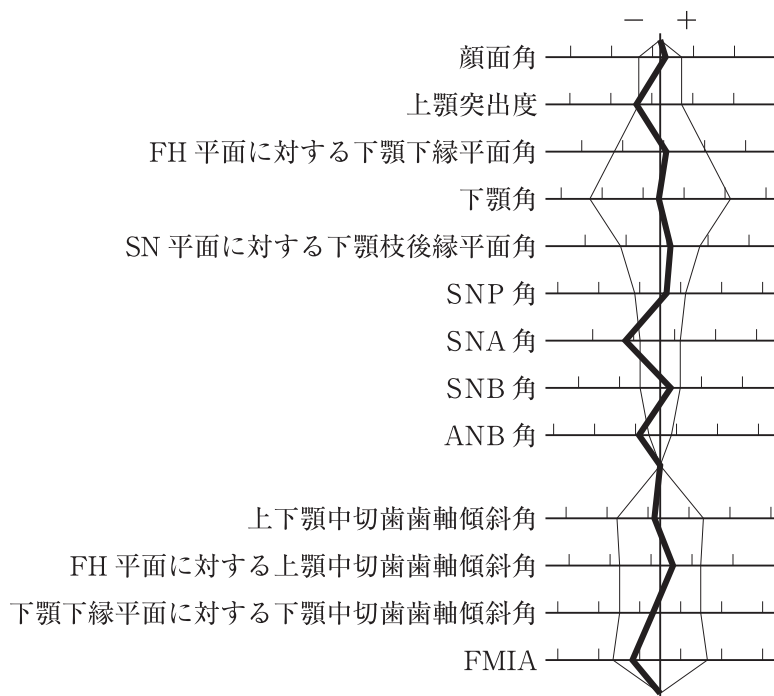
無菌的処置を行うために必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 隔壁形成
- b 歯間離開
- c 歯肉圧排
- d 歯肉整形
- e ケミカルサージェリー

別 冊

No. 15 A、B

75 7歳の男児。前歯の咬み合わせが反対になっていることを主訴として来院した。乳歯列も同様であったという。診断の結果、矯正治療を開始することとした。初診時の顔面写真(別冊No. 16A)、口腔内写真(別冊No. 16B)及びエックス線画像(別冊No. 16C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



第一期治療で行うのはどれか。3つ選べ。

- a 下顎骨の成長抑制
- b 上顎骨の前方牽引
- c 下顎前歯の舌側傾斜
- d 上顎歯列の側方拡大
- e 上顎右側中切歯の萌出誘導

別 冊
No. 16 A、B、C

76 30歳の男性。睡眠中の歯ぎしりを主訴として来院した。数年前から歯ぎしり音を家族に指摘されていたという。検査の結果、ある口腔内装置を装着することとした。初診時の口腔内写真(別冊No. 17 A)と側方運動時の口腔内写真(別冊No. 17 B)、使用前の装置の写真(別冊No. 17 C)及び1週使用後の装置の写真(別冊No. 17 D)を別に示す。

本装置について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 開口量を抑制する。
- b 側方滑走を抑制する。
- c 歯の咬耗進行を防ぐ。
- d 終日装着が必要である。
- e 清掃時には熱湯に浸す。

別 冊 No. 17 A、B、C、D

77 86歳の女性。かかりつけ歯科医で舌の腫瘤を指摘され来院した。右側舌縁部に硬結を伴う腫脹を認める。頸部に腫大したリンパ節は触れない。初診時の口腔内写真(別冊No. 18 A)、造影CT(別冊No. 18 B)、FDG-PET/CT(別冊No. 18 C)、MRI 脂肪抑制造影 T1 強調像(別冊No. 18 D)及び生検時の H-E 染色病理組織像(別冊No. 18 E)を別に示す。

適切な治療法はどれか。1つ選べ。

- a 開 窓
- b 切開排膿
- c 外科的切除
- d 抗菌薬投与
- e 副腎皮質ステロイド軟膏塗布

別 冊 No. 18 A、B、C、D、E

78 17歳の女子。上顎前歯の前突を主訴として来院した。術前矯正治療後に顎矯正手術を行うこととした。手術中の口腔内写真(別冊No. 19)を別に示す。

この手術法はどれか。1つ選べ。

- a Dingman 法
- b Robinson 法
- c Wunderer 法
- d Le Fort I 型骨切り術
- e Obwegeser-Dal Pont 法

別 冊 No. 19

79 53歳の女性。下顎前歯欠損による審美不良を主訴として来院した。ジルコニアを用いたオールセラミックブリッジで補綴処置を行うこととした。製作過程の写真(別冊No. 20A、B)と完成したブリッジを装着した口腔内写真(別冊No. 20C)を別に示す。

20Bから20Cの間に歯科医師が歯科技工士に行った指示はどれか。1つ選べ。

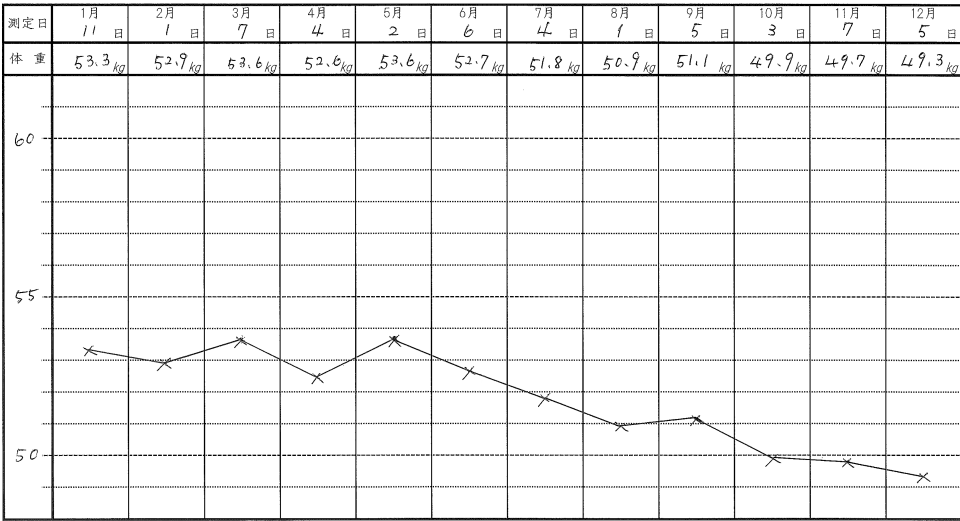
- a 「模型をスキャンしてください」
- b 「コーピングの焼結をお願いします」
- c 「リテンションビーズを付与してください」
- d 「陶材焼成とグレージングをお願いします」
- e 「ポンテック基底面を船底型にしてください」

別 冊

No. 20 A、B、C

80 75歳の男性。食事摂取の困難を主訴として、介護老人福祉施設から訪問歯科診療の依頼があった。約1か月前から食事時間が延長し、摂取量は著しく減少しているという。認知症はあるが他に特記すべき疾患はない。BMIは18.1であった。使用中の義歯に問題はなかった。食事観察では、隣席の入所者の動きに気をとられ、しばしば食事を中断していた。過去1年間の体重変化を図に示す。

体重記録（2016年）



適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 経過を観察する。
- b 胃瘻の造設を勧める。
- c 嚥下機能訓練を行う。
- d 声かけをして食事を促す。
- e 栄養補助食品の摂取を勧める。

81 11歳の女兒。上顎兩側犬歯部の空隙を主訴として来院した。前歯部の被蓋関係は正常である。初診時の口腔内写真(別冊No. 21A)、エックス線画像(別冊No. 21B)及び歯科用コーンビームCT(別冊No. 21C)を別に示す。

まず行うべき対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
- b 上顎中切歯間の空隙閉鎖
- c 上顎兩側犬歯の開窓牽引
- d 上顎兩側側切歯の歯内療法
- e 上顎兩側第一小臼歯の近心移動

別 冊

No. 21 A、B、C

82 67歳の女性。笑ったときの歯並びの違和感を主訴として来院した。装着中の義歯は1年前に製作したという。義歯装着時の正貌写真(笑ったとき)と側貌写真(別冊No. 22A)及び咬合時の口腔内写真(別冊No. 22B)を別に示す。

改善すべき項目はどれか。2つ選べ。

- a 咬合高径の低下
- b 下顎前歯の唇舌的位置
- c 上下顎正中線の不一致
- d リップサポートの不足
- e スマイルラインとの不調和

別 冊

No. 22 A、B

83 9歳の女兒。嚥下時の鼻腔への逆流があることを主訴として来院した。軟口蓋の運動障害を認めたため装置を使用することとした。装着時の口腔内写真(別冊No. 23)を別に示す。

装置の効果を確認するための検査として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 筋電図検査
- b 超音波検査
- c 改訂水飲みテスト
- d 鼻咽腔内視鏡検査
- e 反復唾液嚥下テスト

別 冊

No. 23

84 23歳の女性。開口障害を主訴として来院した。4か月前から右側顎関節のクリック音を自覚していたが、3日前に口が開かなくなったという。右側顎関節部の圧痛と開口時痛を認める。右側顎関節のMRI(別冊No. 24A)と切歯点開閉口運動路を正面から観察した図(別冊No. 24B)を別に示す。

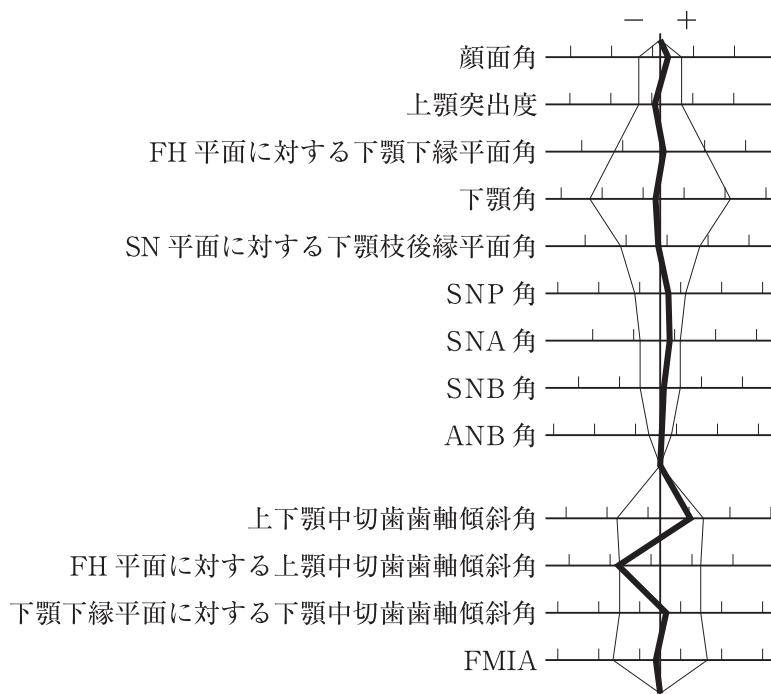
まず行う対応はどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
- b 下顎可動化訓練
- c 顎関節円板切除術
- d 中枢性筋弛緩薬の投与
- e 非ステロイド性抗炎症薬の投与

別 冊

No. 24 A、B

85 8歳の男児。反対咬合を主訴として来院した。生後6か月時に口唇形成術を受けたという。初診時の顔面写真(別冊No. 25A)、口腔内写真(別冊No. 25B)、エックス線画像(別冊No. 25C)及び歯科用コーンビームCT(別冊No. 25D)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



適切な治療方針はどれか。2つ選べ。

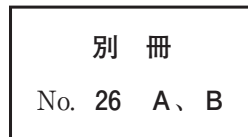
- a 顎裂部骨移植術
- b 下顎歯列の側方拡大
- c 下顎前歯の舌側移動
- d 上顎前歯の唇側移動
- e 上顎骨の前方成長促進

別 冊
No. 25 A、B、C、D

86 25歳の女性。上顎左側第一小臼歯の冷水痛を主訴として来院した。検査の結果、コンポジットレジン修復を行うこととした。初診時と修復物除去後の口腔内写真(別冊No. 26 A)及び切削器具の写真(別冊No. 26 B)を別に示す。

次に用いる切削器具はどれか。1つ選べ。

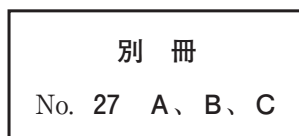
- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ



87 67歳の男性。下顎前歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。1か月前に気付き、徐々に大きくなってきたという。オトガイ部の感覚に異常はなく、顎下リンパ節とオトガイ下リンパ節の腫脹もない。初診時の口腔内写真(別冊No. 27 A)、エックス線画像(別冊No. 27 B)及び生検時のH-E染色病理組織像(別冊No. 27 C)を別に示す。

適切な治療法はどれか。1つ選べ。

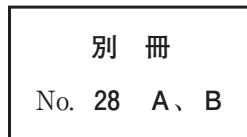
- a 歯肉切除
- b 3 2の抜歯
- c 下顎辺縁切除
- d 下顎区域切除
- e 放射線治療



88 15歳の男子。下顎右側第一大臼歯の違和感を主訴として来院した。歯髄電気診に生活反応を示すが、打診痛はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 28 A)とエックス線画像(別冊No. 28 B)を別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

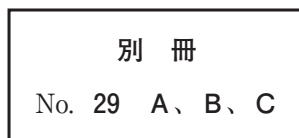
- a 経過観察
- b フッ化物歯面塗布
- c ボンディング材によるコーティング
- d 修復処置
- e 抜 髄



89 50歳の女性。上顎左側臼歯部欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。欠損部にインプラント体を埋入し、最終補綴装置を装着した。治療過程の順に並べた写真(別冊No. 29 A、B、C)を別に示す。

矢印で示す装置の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 遊離端欠損症例は適応とならない。
- b CAD/CAM を応用して製作される。
- c クラウンとスクリューで固定される。
- d インプラント体埋入と同日に装着される。
- e プロビジョナルクラウン装着が必要である。



90 76歳の男性。上顎義歯が外れやすいことを主訴として来院した。上顎全部床義歯は3年前に製作したという。検査の結果、咬合関係には問題が認められなかったため、間接法によるリラインを行うこととした。一連の操作過程の写真(別冊No. 30)を別に示す。

操作の過程を実施の順番に並べよ。

解答： ① → ② → ③ → ④ → ⑤

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊

No. 30

